

本手引きの利用にあたって

1 作成のねらい

本手引きは、畜産経営の担い手として期待される女性の能力が今まで以上に発揮できるようにするために、職場等の環境整備やキャリアアップ、ワーク・ライフ・バランスへの対応等における畜産女性を取り巻く課題と対応策を考えることを目的に作成したものです。

畜産女性を取り巻く課題は、男性にも共通することもありますし、畜産全体で考えていくテーマでもあります。

一方で、これらの課題を男女共通の問題として扱うことにより、畜産女性が置かれている状況が見えにくくなってしまうといったこともあります。

そこで、本手引きは、畜産女性を取り巻く課題としてクローズアップしその課題への対応策を考えつつ、その先には男女共通、畜産業界全体の課題に結び付けていくことを念頭に取りまとめました。

本手引きは、畜産業界や男性を批判することを目的としているわけではなく、これからの畜産の発展において、畜産が抱える課題を女性が置かれている状況から見つめ直し、その対応策を考えることに主眼を置いています。

是非、女性・男性、経営主・従業員、経営者・経営支援者の別なく参考にいただければ幸いです。

また、本手引きを読んで共感できること、共感できないことや反論など是非、周りの仲間たちと議論してください。

2 対象とする読者

個人経営、法人経営の別なく、

- ・経営主、経営者
- ・経営で働くすべての女性
- ・経営支援者
- ・畜産への就農を希望している皆さんや学生の皆さん

3 本手引きの作成にあたり用いた基礎データ

畜産経営における女子力発揮推進事業の一環として実施した女子力発揮についての意識調査（アンケート調査、聞き取り調査、優良事例調査）の調査結果を基礎データとして畜産に従事する女性を取り巻く課題や対応策を分析しています。

本手引きの中で記述のある「中畜実施調査」とは本調査のことを示しています。

す。

【調査概要】

①アンケート調査

郵送アンケート形式により畜産経営における女性の活用状況や女性登用に関する経営主の考え方等を調査しました。

平成27年度：個人経営250件

平成28年度：法人経営185件

平成29年度：個人・法人経営97件 計532件

②聞き取り調査

畜産女性を参集し意見交換形式により、畜産女性を取り巻く職場等環境整備、キャリアアップ、ワーク・ライフ・バランスなど女性が働きやすい環境づくりに向けての課題と対応について聞き取り調査を実施しました。

平成27年度：主に個人経営に従事する畜産女性12名

平成28年度：個人又は法人経営に従事する畜産女性14名

計26名